

シリーズ

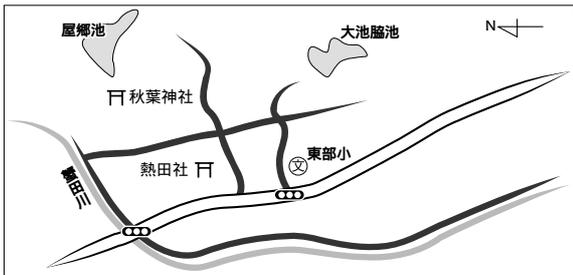
阿久比を歩く⑧



偶然出会ったキジ



頂上からの眺めが素晴らしい秋葉神社参道



宮津地区の熱田社から秋葉神社周辺を散策した。
 熱田社には天然記念物で阿久比町指定文化財になっている一本の楠（くすのき）の大樹が威風堂々とそびえ立っている。
 樹皮がめくれかけ、穴の空いた部分が多く、年老いた樹にも映るが、太い幹からは若い木の芽が顔を出し、樹の下から眺める枝葉の勢いは、昔からこの場所で行われている祭りなどを見続け、地区の人々を見守ってきた自信と風格を感じ取ることが出来る。
 小高い丘にある秋葉神社に行ってみた。秋には紅葉が楽しめるモミジの葉が風に揺れている。
 ここから一望できる田園風景は素晴らしい。敷き詰められたじゅうたんのように稲の緑がまぶしい。
 夕方、西の空に陽が沈むのを見て、ロマンチックに夜空の星を見るのもいいかもしれない。隣にいた友人に「今度、僕とじゃなくて彼女とここに来た方がいいよ」と言うと、「そう

宮津地区のまちの中を通りぬけ、道が続く東の方へ向かう。人里を離れ少し行くと、見渡す限り緑が広がる秘境らしき場所にたどり着く。目の前にはトンボが飛び交っている。モンシロチョウ、バッタ、カエルにトカゲなど多くの生き物に出会う。
 畑仕事をしていた夫婦に「自然がいっぱい残っていますね」と話しかけると、「そうだね。この辺にはタヌキやウサギもいるよ。作物を食べちゃって困ることもあるけどね」「夏でもウグイスの鳴き声が聞けるのはいいよ」と笑いながら答えてくれた。
 もしかするとタヌキが木々の間からぞいて、私たちがぶらり旅をする姿を観察していたのかもしれない。
 今回は草木地区の多賀神社周辺を散策します。



熱田社に2本並ぶ天然記念物の楠

自然を求めて

あ

ぐ

い

ぶ

ら

り

旅